

1月29日から「RFID」の商用サービス開始

「AI発行・配本適正化」は25年度中に外販へ

総合商社の丸紅と大手出版社が設立した株式会社Pubtexは、今年いよいよ本格的なサービスを開始する。出版物にRFIDタグをつけて書店業務などを効率化する「IoTソリューション事業」の商用サービスを1月29日から、AIで出版物製作の適正化を目指す「AI発行・配本適正化ソリューション事業」の外販を2025年度中にスタート。1月1日付で同社代表取締役社長に就任した渡辺順氏は、本紙取材に対して、これら事業をより強力に推進することや、外部への情報発信やパートナー企業との連携に力を入れていく考えなどを示した。

「RFID」書店5法人

9店舗でスタート

書店での「RFID」は今春、これまで5法人9店舗の書店でから本格運用を始める計画です。イロット導入にご協力いただき、いかがですか。

1月29日から商用サービスをスタートします。23年8月にパイロット導入した大垣書店(京都市) 効果とともに期待通りの結果を得る様と有隣堂(横浜市) 様を含め、ことができましたため、商用サービスに切り替え、多くの書店様に対して強く感じています。



Pubtex 渡辺順社長に聞く

目指しています。その上で、さらす当社の考え方や、提供するソリューションが実現する効果などを発信して、業界の皆様と理解し、集英社にKADOKAWAを

加えた4社が行っていますが、6社目までの貼付拡大については、大を加速化していく方針です。また、貼付対象ジャンルの拡大にも取り組みます。

「AI発行・配本適正化ソリューション事業」も、今年度中には外販を開始します。株主出版社とも

「AI発行・配本適正化ソリューション事業」の根幹ではPubtexの事業の根幹では、RFIDと「RFID」の2事業でしっかりと価値を

一方、「RFID」については、試験導入した大垣書店と有隣堂

「物流改善」だけでは解決できない業界課題

社長就任前からプロジェクト

私はPubtexプロジェクト

30歳で丸紅に中途入社した後

は、ロジスティクス事業の企画

業、事業運営の経験を積んだの

に、新規事業として、デジタル

活用してお客様のサプライチェ

ンを最適化するデジタルSCM事

業を立ち上げ、企業のサプライ

チェーン改革に取り組んでまい

りました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

ました。当社についてもその事

業の改革に取り組んでまいり

— お生まれや、手掛けてきたお仕事、趣味などはいかがですか。1976年生まれの48歳、静岡県出身です。大学卒業後、新卒で静岡県に本社を置く鈴与という物流会社に入社し、7年間、国際物流を中心を担当し、中国に3年ほど駐在していた経験もあります。30歳で丸紅に中途入社した後、ロジスティクス事業の企画営業、事業運営の経験を積んだのちに、新規事業として、デジタルを活用してお客様のサプライチェーンを最適化するデジタルSCM事業を立ち上げ、企業のサプライチェーン改革に取り組んでまいりました。当社についてもその事業の中の一つとなります。趣味は旅行、キャンプ、ゴルフは練習中です。— ありがとうございます。